

平成三〇年度 まなびい交流倶楽部

金継ぎ

「金継ぎ」とは、割れたり欠けたりした器を漆で接着し、継ぎ目に金や銀、白金などの粉を蒔いて装飾する、日本独自の修繕法です。

それは、日本人の持つ、もったいない、という精神と、修繕後の継ぎ目を、景色、と称して、その趣を楽しむ独特の美意識から生まれた伝統文化です。

かけらをひとつひとつ継ぎ、その器と想いを後世へとつないでゆく。

そんな時間を一緒に過ごしませんか。

【日時・内容】

〈講演〉「暮らしを大切に作る心の手ほどき～金継ぎ～」
平成30年4月20日（金）14時～15時30分
※講演のみの参加も可能です

〈金継ぎ実習〉作品の品評会を行うなど、受講者同士の交流を図りながら、全5回の工程に分けて行います。

第1回：5月11日（金）「実習説明、下処理」
第2回：5月18日（金）「欠損部修繕」
第3回：5月25日（金）「研磨」
第4回：6月1日（金）「金（銀）蒔き」
第5回：6月8日（金）「仕上げ、品評会」

19時～20時30分

【場所】山梨県生涯学習推進センター交流室

【対象】一般県民（どなたでも参加できます）

【申し込み・定員】※必ず事前申し込みをしてください

〈講演〉50名〈金継ぎ実習〉15名（全5回に参加できる方）

【参加費】〈講演〉無料〈金継ぎ実習〉キット代 4000円※初回一括

【持ち物】〈講演〉筆記用具〈金継ぎ実習〉裏面をご参照下さい。



【講師】古屋 容子 氏

2007年より蒔絵師に師事。本漆を用いた金継ぎの技術を習得する。器の繕いを通し、漆のすばらしさを体験してほしい、ものを大切にする気持ちの豊かさを伝えたいと、「繕イビト」として講座やワークショップを開催中。

〈講師HP〉

<http://tsukuroibito.com/>



山梨県生涯学習推進センター

〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館やまなしプラザ内
TEL: 055-223-1853 FAX: 055-223-1855
E-Mail: llcenter@yamanashi-bunka.or.jp
HP: <http://www.manabi.pref.yamanashi.jp/center/>



Twitter Facebook
「山梨県生涯学習推進センター」で検索



HP

Facebook

Twitter

【金継ぎ実習にお申し込みの方々に】必ずご確認ください

※今回の金継ぎ実習講座はお申込み10名以下だった場合開催いたしません。ご了承下さい※

〈持ち物〉

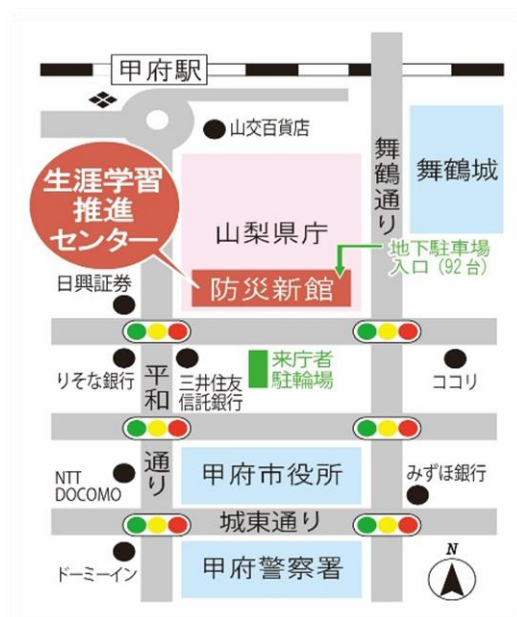
修繕したいもの（直したい器5個くらいを初回持参）、エプロン、割烹着、腕カバー、ゴム手袋（使い捨てタイプ）、金継ぎセット（初回にお渡しします。2回目以降はご持参ください。）

〈注意・お願い・ポイント〉

- ・修繕はご持参頂いたものの中から、割れや欠け具合などの難易度を確認し、修繕可能なものを選択いたします。持参したもののすべてが修繕できるとは限りませんので、ご承知おきください。
- ・修繕したいものは、食器洗い用の中性洗剤を水に溶いてしばらく浸したのち、スポンジなどで汚れを落とし、完全に乾かしてからご持参ください。
- ・布に付いた漆は黒く変色し落ちません。保護としてエプロンや腕カバーをご準備ください。
- ・繕う素材について
磁器に比べ陶器は漆のなじみがよいです。ガラスは漆との相性がよくありません。手を切る危険性もある為今回は「対象外」といたします。
- ・修繕する器の前処理について
傷の表面の汚れは落としてから繕います。漆の硬化を妨げる可能性があるため、漂白剤などは使用しないでください。もし、ひどく汚れていて漂白剤を用いたい場合は、ごく薄めの溶液に浸し、必ず経過を観察してください。
- ・漆かぶれについて
乾いていない漆は、アレルギー反応を起こしやすいためかぶれる場合があります。皮膚に付着した場合の処理は指導致しますが、敏感な方は全工程で手袋を着用することをお勧めします。なお、完全に乾いた漆はかぶれません。
- ・今回使用する金について
今回の講座では、初心者用として純金消粉を用い、「消し仕上げ法」で繕いを致します。消し仕上げ法では、金粉の上に塗った漆を磨かずに仕上げます。消し仕上げ法の金の色合いは磨かずに仕上げるのでやや黒っぽくなり、艶が消えたマットな仕上がりになります。

〈会場案内〉

- ◆山梨県庁防災新館1階（甲府市丸の内1-6-1）
JR甲府駅より徒歩5分。
- ◆有料地下駐車場完備。受講者は1時間無料。
以降は自己負担（30分ごとに150円）
- ◆駐輪場は防災新館南側道路向いにございます。



平成30年度 まなびい交流倶楽部「金デ継グ」講座受講申込み

※希望のコースに○印をつけてください。

- ①講演のみ参加 ②実習のみ参加 ③講演、実習どちらも参加

■氏名

■電話番号

ご記入の上、この面をFAXしてください。

FAX 055-223-1855